

歴史の遺物に触れる

自然と文化
を学ぶ会

小六区で史跡巡り



富士見の自然と文化を学ぶ会の歴史散歩で成田不動尊像を見学する参加者ら

富士見町の「富士見の自然と文化を学ぶ会」は8日、町小六区の史跡などを巡る歴史散歩を開いた。町内から約40人が参加し、同会の副会長で同区に住む有賀敬治さんの案内で、江戸時代から続く歴

史的な石像や道祖神、倉庫などを見て回った。小六区にある史跡を多くの人に知ってもらおうと企画。小六公民館を出発した参加者は、県道沿いにある「小六石」から見学した。有賀さんは「領

地争いをしてきた武田信虎の家臣、岡田小六右近が、相手の情報を伝える目標として石を使っていた」と歴史的遺物であることを伝えた。区内の公園内にある「成田不動尊像」も見た。1899年に不動尊信仰にあやかりたいと、近隣住民の呼び掛けで作られた像。普段は扉が閉ま

っているがこの日は特別に開き、じっくり像を観賞した。大きさが約3メートルあり、迫力満点で、参加者は「これはすごい」「近くで見ると大きい」と驚いていた。最後には同区の祇園祭で披露されている獅子舞を観賞し、約170年続く文化に思いをはせた。